

2025 年 9 月 30 日作成（第 1.0 版）

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 12 月

福島県立医科大学医学部 腎臓高血圧内科学講座 風間 順一郎

■ 研究課題名

尿中アンギュリン-3 のポドサイト障害マーカーとしての実用性の検討

■ 研究期間

2025 年 12 月 ～ 2030 年 11 月

■ 研究の目的・意義

慢性腎臓病は腎機能が何年もかけて低下していく病気で、生活習慣病の増加や高齢化に伴い、非常に多くの人々が慢性腎臓病を患うことになると推定されています。

腎臓で血液中の老廃物を尿に排出する働きを中心的に担うのがポドサイトと呼ばれる細胞です。

ポドサイトがダメージを受けて失われると腎機能が低下してしまいます。

この研究はポドサイトのダメージを判定できる新しい検査方法を開発することで、慢性腎臓病の診療を向上させることを目的としています。

具体的には、障害を受けたポドサイトに出現するアンギュリン-3 という分子を利用します。尿の中に流れ落ちたアンギュリン-3 を検出することで、ポドサイトのダメージを測定する技術開発を目指します。

■ 研究対象となる方

2005 年 12 月から 2025 年 11 月までの間に福島県立医科大学附属病院の腎臓高血圧内科を受診され、腎臓の病気の診断のために腎臓の組織を調べる検査(腎生検)を受けられた 18 歳以上の患者様が対象です。

■ 研究の方法

私達が開発している尿の中のアンギュリン-3 を測定する検査方法で、実際に患者様の尿検体でア

ンギュリン-3 を測定させていただきます。そして患者様の腎生検検査の腎臓の組織の残りの一部を使用させていただき、組織でのアンギュリン-3 の量を画像測定して、開発した尿検査方法での結果と比較します。また尿検査での蛋白尿の値とも比較します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 12 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座であり、研究責任者は腎臓高血圧内科学講座 風間順一郎です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学腎臓高血圧内科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他機関への試料・情報の提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部腎臓高血圧内科学講座 担当：東 淳子

電話：024-547-1206 FAX：024-548-3044

e-mail：jinnai@fmu.ac.jp